

【リハビリテーション】

2024年

[学会発表]

▶全国学会

- 1) 若年者大腿骨頸部骨折術後理学療法の妥当性
高木一人
(第6回日本運動器理学療法学会ブロック学術小集会、2024年2月、東京都)
- 2) 舌癌術後8カ月で経口摂取が可能になった一症例
中澤肇
(第25回日本言語聴覚学会、2024年6月、兵庫県神戸市)
- 3) 運動器エコーを用いて足関節背屈ROM制限因子を検討した足関節脱臼骨折術後の一症例
田中雄也
(第12回日本運動器理学療法学会学術大会、2024年9月、神奈川県横浜市)
- 4) 身体機能改善と二次的合併症の増悪予防を目的に離床を継続した重症くも膜下出血症例
角井孝多
(第22回日本神経理学療法学会学術大会、2024年9月、福岡県福岡市)
- 5) 原発性ALアミロイドーシスを背景とした心不全症例に理学療法を実施した一例
藤澤佑輔
(第8回日本循環器理学療法学会学術集会、2024年11月、宮城県仙台市)
- 6) Predictors of ADL ability at discharge from convalescent hospitals considering the time of occupational therapy in infarct patients admitted to an acute care hospital
松本幸樹
(第8回アジア太平洋作業療法学会、2024年11月、札幌市)
- 7) 心停止を伴った重症急性心筋梗塞患者の復職支援
古澤貴裕
(第58回日本作業療法学会、2024年11月、札幌市)
- 8) 脳出血急性期の意識障害者に対する作業療法実施時間の増加による効果
松本幸樹
(第58回日本作業療法学会、2024年11月、札幌市)
- 9) くも膜下出血後に敗血症を発症し理学療法を実施した一症例
角井孝多
(第51回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会、2024年11月、兵庫県姫路市)

- 10) 産後 2 か月に脳出血を発症し、抑うつ症状を呈した症例に対して心理的側面に着目した理学療法介入
小中桃子
(第 51 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会、2024 年 11 月、兵庫県姫路市)

- 11) HAD 進行により自宅退院が叶わなかった前立腺浸潤直腸がんの一例～運動、栄養、環境調整の重要性～
大西正剛
(第 51 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会、2024 年 11 月、兵庫県姫路市)

- 12) 既往に臼蓋形成不全がある両臼蓋後壁骨折術後の理学療法介入の経験
妻沼智之
(第 51 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会、2024 年 11 月、兵庫県姫路市)

- ▶研究会・地方会
- 1) 2 型糖尿病と低栄養を合併した右大腿骨頸部骨折患者への介入
秋田祥吾
(第 6 回道北理学療法士学術大会、2024 年 1 月、旭川市)

- 2) 脳卒中後に急性心膜炎を発症しリスク管理のもと介入を行い動作能力の改善が得られた一症例
小中桃子
(第 6 回道北理学療法士学術大会、2024 年 1 月、旭川市)

- 3) 重症急性心筋梗塞症例に対し運動療法と栄養療法の併用による理学療法を行った一例
藤澤佑輔
(第 6 回道北理学療法士学術大会、2024 年 1 月、旭川市)

- 4) 脳梗塞患者における急性期と回復期を併せた総入院期間を予測するための急性期病院入院時因子の検証
松本幸樹
(第 54 回北海道作業療法学会学術大会、2024 年 6 月、千歳市)

- 5) 足関節脱臼骨折後の背屈可動域拡大に難渋した症例
鈴木和真
整形外科外傷看護×リハビリコラボセミナー (2024 年 7 月、札幌市)

- 6) 糖尿病患者の適切な運動強度を正確でより簡易的に設定するための因子の検討
山縣亘
(北海道理学療法士会道北支部第 1 回臨床研究支援研修会、2024 年 7 月、オンライン)

- 7) AT 時心拍数の理学療法評価を用いた予測モデルの検討
山縣亘
(北海道理学療法士会道北支部第 2 回臨床研究支援研修会、2024 年 9 月、オンライン)

- 8) 足関節後果骨折術後の経過を追った一症例～足関節背屈・母趾伸展可動域・エコー所見を用いて～
妻沼智之
(第 75 回北海道理学療法士学会、2024 年 11 月、苫小牧市)
- 9) 骨髄増殖性疾患に伴う重症肺高血圧症患者に対し理学療法を実施した一例
川島航平
(第 75 回北海道理学療法士学会、2024 年 11 月、苫小牧市)
- 10) AT 時心拍数の理学療法評価を用いた予測モデルの検討
山縣亘
(北海道理学療法士会道北支部第 3 回臨床研究支援研修会、2024 年 11 月、オンライン)
- 11) 転落にて受傷した上腕骨遠位粉碎骨折の 1 例～入院中のリハビリテーション経過～
古澤貴裕
(第 4 回旭川の手外科を考える会、2024 年 12 月、旭川市)

[講演]

- 1) 作業療法士による介護予防
平典起
(レクリエーションインストラクター養成講習会、2024 年 6 月、札幌市)
- 2) ロジスティクスの基本と活動内容
古澤貴裕
(災害リハビリテーション勉強会、2024 年 6 月、オンライン)
- 3) 介護する側の管理も大事～腰痛予防について～
妻沼智之
(旭川赤十字病院出前講座、2024 年 9 月、旭川市)
- 4) 保健医療福祉と地域支援
阿部純平
(北海道作業療法士会主催 現職者共通研修、2024 年 10 月、オンライン)
- 5) 当院の心臓リハビリテーションについて
阿部純平
(旭川赤十字病院第 25 回市民公開講座、2024 年 10 月、旭川市)
- 6) リハビリと他部門との連携～リハビリテーション部門の協力～
穴口孝徳
(旭川赤十字病院第 2 回身体拘束等最小化研修会、2024 年 10 月、旭川市)

- 7) せん妄を呈した急性期脳梗塞患者に対する介入について
松本幸樹
(日本作業療法士協会 認定作業療法士取得研修会、2024年11月、オンライン)
- 8) 管理する側の健康管理も大事
妻沼智之
(旭川赤十字病院出前講座、2024年11月、旭川市)
- 9) 転ばない環境作り
穴口孝徳、小林美月
(旭川赤十字病院 転倒予防教室・全5回、2024年11月、旭川市)
- 10) 英語論文を臨床に生かすヒント、大学院を出てないPTが英語論文を独学で読み倒すまでのストーリー
藤澤佑輔
(第75回北海道理学療法士学術大会、2024年11月、苫小牧市)

[雑誌投稿、論文投稿]

- 1) 難聴のある舌癌術後患者の構音自己評価 -難聴の影響-
中澤肇
(旭川赤十字病院医学雑誌 Vol.36、2024年8月)
- 2) 脳出血急性期における意識障害改善の有無に関連する要因の検討
松本幸樹
(作業療法の実践と科学 6(3) : 69-77、2024年8月)
- 3) 脳梗塞患者における回復期病院退院時 FIM の認知および運動項目を急性期入院時から予測する
— 予後予測に基づいた生活行為目標を設定するために —
松本幸樹
(学術誌作業療法 43 巻 5 号、2024 年 10 月)